

## 概要

12月の二見湾定地水温(図1)は、過去最高水温に近い日もあるなど、1ヶ月を通して、平年よりも高めで経過しました。月平均水温も、過去平均より、1.3 高い、24.1 となりました。

2006年、1年間の定地水温と平年差を図2に示しました。1月は平年よりも低めで経過しましたが、2月下旬から上昇に転じ3月上旬にかけては、平年よりも2度以上高い日が続き、延べ10日にわたり過去最高を上回りました(過去最高と同じ日は延べ2日)。

4月下旬から5月上旬にかけては、平年よりも3 以上低い日があるなど過去最低を下回る日が延べ2日ありました(過去最低と同じ日は延べ1日)。その後、平年よりやや低めで経過していましたが、7月下旬より上昇に転じ、8月は過去最高よりも高い日が延べ2日、その後9月中旬まで平年よりも高い日が続きました。その後は徐々に下がりはじめ、10月には過去最低を下回った日が延べ9日にも達しました。12月に入り平年よりもやや高めとなりました。1974年に観測を始めて以来の最低、最高を超える日が合わせて23日間あるなど、変化が大きかった1年であったと言えます。

こうした水温の大きな変動要因の1つには、暖・冷水渦の通過が影響していると考えられ、図3に示した人工衛星による海面高度計のデータを見ると、5月1日には小笠原周辺(丸印)は、青色の冷水渦に覆われていたことがわかります。8月1日は赤色の暖水渦に覆われており、10月20日は再び濃い青色の冷水渦に覆われていたことがわかります。

## 二見湾定地水温

毎日午前中1回、父島二見湾内青灯台にて表層水温を測定(1974~)



今月平均 24.1  
過去平均 22.8

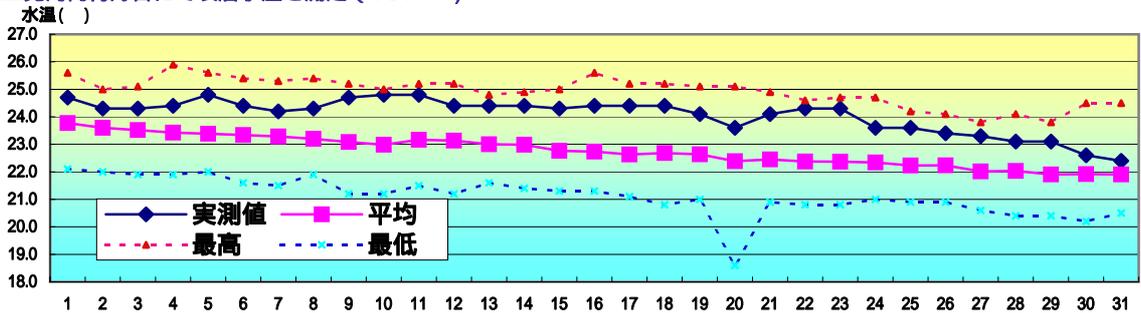


図1 12月の定地水温推移

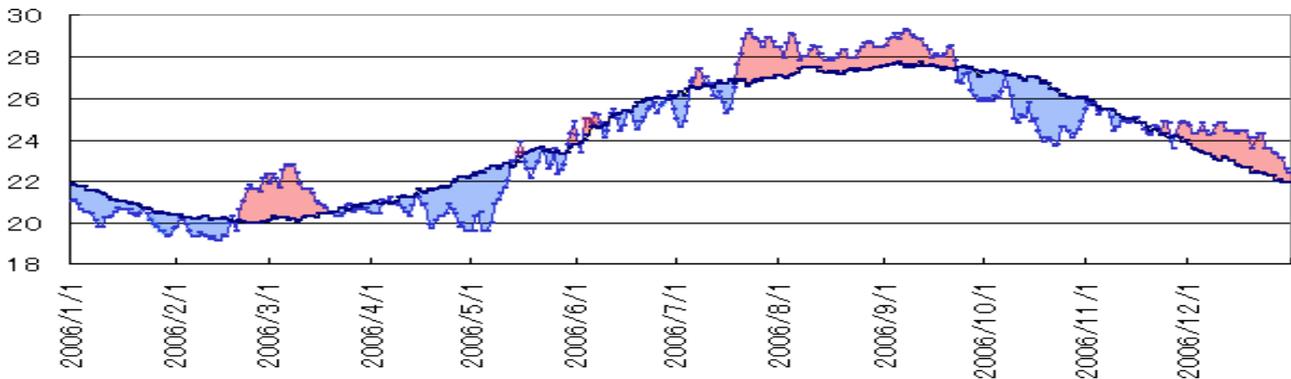
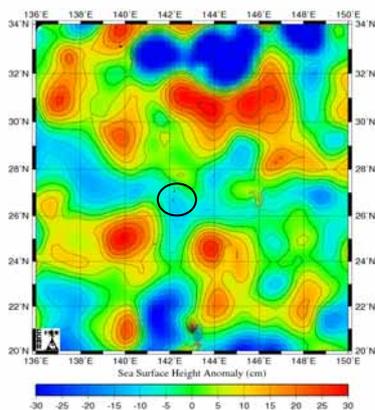
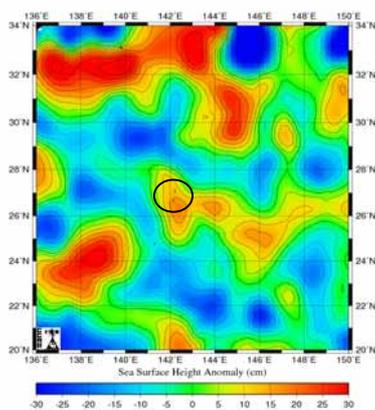


図2 年間の水温推移と平年差

Real-Time Mesoscale Altimetry - May 1, 2006



Real-Time Mesoscale Altimetry - Aug 1, 2006



Real-Time Mesoscale Altimetry - Oct 20, 2006

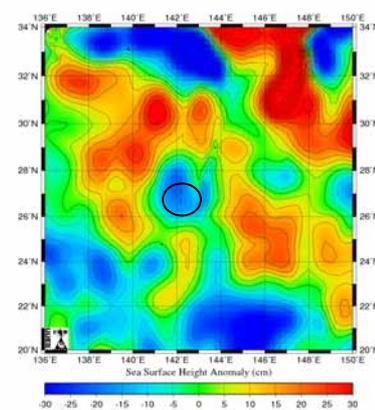


図3 人工衛星による海面高度計データ

バックナンバーは下記で公開中

<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/suisancenter/33umi.htm>